

オカモトはどうやってここまで結果を出すことができた のか？

— オカモト物語 —

2018年冬

大学を卒業して
サラリーマン1年目のことです。

小・中・高・大と特に目立つことなく
周りや親の教えどおり
いい子に育ってきました。

したいことがあるわけでもなく、
なんとなくで就職先を決めました。

たまに残業しながら
当たり障りなく業務をこなしていく毎日

お金もなく、休日は家に引きこもって
ゲームしたり動画みたり。

「サラリーマンってこんなもんか」
と、自分に言い聞かせ続けました。

とある休日

彼女もおらず予定なし。

家から一步も出ないまま夕方になり
ベッドの上でぼーっとしているときに
いきなり恐怖が襲ってきました

「仕事なんてまったく楽しくねえや。」

てことは1週間の5/7は楽しくないってことか...
これが40年も続くのか。
俺の人生、夢も希望もねえな...」

会社の先輩でかっこいいと思える人なんていない。
みんなくたびれたおじさんばかり。

「俺もいずれそうになっていくのかな...」

心臓が握りつぶされる感覚に襲われて
泣きそうになりました

ですが、これがきっかけで

「いや、こんなのでもいいわけねえ。
何か変えないと。こんな人生で終わりたくない」

と、心に火がつかしました。

敷かれたレールの上を歩いてきた私は
何をすればいいのかなんてもちろん分かりません。

「とりあえず情報収集しよう」
と考えてネットで”人生を変える方法”など
調べていくようになりました。

その中で

私に衝撃が走ったのが
Twitterで情報発信している
フリーランスや起業家でした

同じ20代なのに収入が高く、影響力があって
楽しそうに生きてることとにかく驚きました。

「なんじゃこの世界は」
と。

でもこの時は

まだ半信半疑でした

それから発信を追いかけるようになり
アフィリエイト、転売、エンジニア、ブロガーなど
自由に生きるための知識が入ってきました。

「個人で稼いで仕事辞めたら
我慢してることができるんじゃないか？
今のつまらん毎日から脱出できるんじゃないか？」

「やってみたい...
できるようになりたい！」

発信を見るにつれて疑いの気持ちよりも
やってみたい想いが強くなっていきました。

何かやってみようと思い

一番よく目にしていた アフィリエイトに取り組もうとしました

SNSやブログで情報発信して
集まってきた人に商品を紹介して
稼ぐビジネスモデルです。

ですが、私には発信できるような知識がありません。
それに商品を紹介して買ってもらうなんて
できる気がしませんでした。

「初っぱなからダメじゃん」
となり、

やる前から挫折してしまいました

何もない状態から始めても
成果を上げられるものはないかな？
とネットを徘徊しているときに

動画編集の稼ぎ方を見つけました

YouTubeや企業の動画を編集して
納品すれば報酬が発生するモデルです。

動画は注目されてるし

これからも増えていくから
仕事も取りやすいと。

「これならシロートの俺でもできるんじゃないか？」
と、一番可能性が見えたので
実践することにしました。

あまり使わないPCを引っ張り出して プレミアプロを購入、インストール

月額3000円の投資にビビって
「いや、本当に大丈夫か？」
とまた調べ直したりを繰り返し
購入ボタン押すのに1日使いました。

それからは、会社が終わって帰宅して
PC開いてソフトを触る日々。

少しずつできることが増えてきて
「これで稼げるようになるのか...！」
とワクワクしていました。

が、現実はそんなに甘くはありませんでした。

案件が取れないのです

1本1万円以上の案件に絞って
応募してみましたが
1つも採用されませんでした。

なんだか自分の努力が否定されている気がして
どんどん気が減入っていきました。

報酬を徐々に下げていき
初めて取れたのはカットテロップだけの
1本500円の案件でした。

「やった！自分の力で稼げた！」
案件が取れたときは飛んで喜びました。

そして私は編集作業に入るのですが
試行錯誤のすえ10時間かけて完成させました。

「自分で稼ぐことはできたけど、、待てよ
時給換算したら50円じゃん...」

明らかに割にあってないことに気がつきました。

でも、Twitterで動画編集の発信をしてる人が
『安い案件でもまずこなしていくことが大切
ポートフォリオを作って単価を上げていこう』
と言っていたので信じてやり続けました。

しかし、どれだけやっても500-1000円ほどの
案件しか取れません。
何度応募しても1万円の案件は取れないのです。

「この先ずっとこんなことしないといけないの？」

会社が終わったらすぐ家に帰って
ゲームも動画見るのも我慢してPCに向かい合って
地味な作業を繰り返して時給数十円...

誰からも褒められることなく
孤独な毎日を過ごしていくのが辛くなってきました。

この先どうしていけばフリーランスになれるのかも
皆目見当が付きません。

「やっぱり自分には向いてないのかな。。」
と考えるようになっていきました。

できることはやってみようと思い、
ネットで調べて動画の勉強をしたり
Twitterにいる方から話を聞いてみたりして
少しずつ関われる人、情報を集めてみました。

そこで繋がった方から

「集まりがあるので来ませんか？」
とお誘いをいただいた

ので有給を使って向かいました。

これが私の運命を変える行動になるのです。

集まりにいくと、みんな和気あいあいと話していて
はじめは隅っこで1人で突っ立ってるだけで
「来ない方がよかったかなあ」
とか考えたりしていました。

単純にコミュカが低かったのです。笑

私を集まりに誘ってくださった方が
戻ってきてくださり、数名紹介してくださいました。

集まりで偶然出会ったのが ライアートプロモーション代表の山田なのです

(以後、山田さん呼びで書いていきます)

「どうも初めまして。山田と申します。
YouTuber事務所や動画マーケティングの
会社を経営しております。よろしくお願いします！」

「は、初めまして！オカモトです。
よろしくお願いいたします。」
(うわ、すごい人なのに腰低いなあ...)

それから山田さんの会社でやっていること、
会社を起すまでの経緯などを聞かせていただき
「すごい人だなあ」とただ圧倒されていました。

私にも話を振ってくださり
会社がつまらないこと、このままじゃ嫌なこと、
動画編集を始めたが単価が上がらないこと
を相談しました。

話を聞いた山田さんから、
「なるほど。その考えだとちょっと厳しいかもですね」
と言われ軽く心が折れかけましたが、
これからどうしていけばいいのかを優しく教えてくださいました。

以下、山田さんと私の会話です。
(山田さん=や。オカモト=オ)

や「そもそも、安い案件をこなしていけば
単価が上がるということはないんですよね」

オ「どうしてですか？」

や「高単価案件と低単価案件だと
必要なスキルが違うんです。
低単価案件をいくらこなしても
高単価をこなすスキルは身につかないんです。」

オ「そうなんですか！？」

や「算数と社会くらい別ものです」

オ「高単価の方がやっぱり難しいということですよ？」

や「そういうことではないです。
やることがそもそも違うんです。
算数と社会も難しさ違いますよね」

オ「確かにそうですね...」

や「高単価案件を取ってこなせるようになるには
そのステージに必要なスキルを
身につければいいだけなんですよ。

地道に低単価からこなしていくみたいな
根性論みたいなのが美談に聞こえたりしますが、
そんなことするよりうまくいくための
最短ルート行ったほうがいいですよ」

オ「そうですね。最短ルートで行きたいです。
その最短ルートを教えていただくことができますか？」

や「話すとは長くなりそうなので別の機会にお話ししましょう」

と言った流れでLINEを交換して
後日、通話でお話を聞きました。

山田さんの口からは
私が考えもしなかったことがいくつも出てきました

ネットでも見かけたことがないこともたくさんありました。

「ネットって薄い発信多いですからね。」

「こんなこと誰も言ってないと思います。笑」
と何度か言っていたのが印象的でした。

「この人から教われれば一気に成長できるんじゃないか？」
と思い、コンサルしてもらうことをお願いしました。

「サービス作ってやってるわけじゃないんですけど、
いま時間でできてきたのでいいですよ。」
と、奇跡的なタイミングの良さで快諾してくださいました。

価格設定もないので、山田さんの言い値です。

ドガポンよりも全然高い金額で
平社員の私にはかなりの痛手でした。

正直、値段言われたとき
一瞬頭が真っ白になりました

ですが、逆に私の中で覚悟が決まりました。
「山田さんが教えてくださることに
何がなんでも食らいついていこう」
と決心しました。

それから2週間経って、
初めて単価1万円の案件を獲得できました

案件の見極め方、営業のやり方、ポートフォリオ、
2週間前の自分とは全くの別ものになっていました。

「山田さん！1万円の案件取れました！」

「よかったですね！もっと成長して
フリーランスなれるようにやっていきましょう！」

この時の会話は忘れられません。
涙が出るほど嬉しかったです。

半分諦めかけていた時とは大違いで
学ことが楽しく、できることが増えて自信がつき
どんどん作業に取り組んでいきました。

それからも教えを実践していき、
単価10万円の案件を獲得したり
単発案件のクライアントに営業して単価UP+継続案件化したりと、
収入はどんどん伸びていきました。

2019年夏

会社を辞めてフリーランスに転身しました
このとき、月収35万円でした

プレミアプロを入れてから
半年ほどで達成することができました。

会社を辞めた次の日の朝、
いつもの癖で早起きしてしまって、3秒後に
「あ、もう会社行かなくていいんだった」
となって幸せな二度寝につきました。

朝のせかせかした人混みに紛れて
憂鬱な出社をしなくてよくなって
最高の気分です。

夢も希望もなかった半年前とは
考え方も大きく変わりました。

仕事はつまらないものから楽しいものに。
未来は作られるものから自分で作るものに。

人生は変えていけるんだという充実感。

案件を依頼してくれたクライアントには
いつも感謝されて、自信がついていき
自然と明るく社交的な性格に変わっていきました

一緒にzoom飲み会しながら
趣味の話で盛り上がったり
これからの事業展開の話をしたり。

動画の仕事を通じて
全国各地に友達が増えていきました。

「家で仕事するのもいいけど
せっかく場所が自由なんだから
いろんなところ行ってみたいな」
と思い立った次の日には北海道にいました

行きたいところにすぐ行き
旅先で仕事をこなし、残った時間で
観光したりグルメを楽しんだり
クライアントと集まって飲んだり
月の20日間は家にいない生活にハマっていました。

知らないことを知っていける
出会えない人に出会えることで
毎日が刺激的でとても楽しい日々でした。

旅の途中で実家に帰って
両親を箱根旅行に招待することもできました

「あんたは自慢の息子よ」
と、目を潤ませながら言ってくれました。

ここまで育ててくれた両親が
体調不良なく元気なときに
恩返しができる本当によかったです。

かなり自由度の高い生活を
半年ほど過ごしました。

2019年冬

山田さんにお声かけいただいて
ドガポンの立ち上げの講座内容を
監修することになりました

ここまで私が結果を出すことができたのは

山田さんの力があったからなので
二つ返事で快諾しました。

「あの雲の上の存在だった
山田さんと一緒に仕事ができるなんて...」
と嬉しさでいっぱいでした。

私が山田さんから学んだこと、
実体験を通して必要だと感じたことを織り交ぜて、
初心者でもつまらずに進める、
最短距離で結果を出せるカリキュラムにしよう決めて
講座制作に打ち込みました。

あわせて、ライアートプロモーションの仕事も
担当させていただけるようになりました。

10万人規模のYouTubeチャンネル運用、
ディレクターとしてチームマネジメント、
フリーランスチームを0から構築
など、多岐にわたる活動を経験しました

その活動からの学びをドガポンに落とし込み
常にカリキュラムをアップデートしています。

最も結果を作れるカリキュラムを
作り上げている自信があります。

現在もライアートプロモーションで
数百万規模の案件を獲得、運用したり
ドガポンカリキュラムのアップデートの仕事をしています。

私の物語はこれからも続いていきますが、
きっといい結果が出ると信じています。

これが私の濃い3年半のお話です

あなたは今の私しか知らないと思うので
「動画で大きな結果を作っている人」
だと感じていたかもしれませんが、
この物語を読んでみてどうだったでしょうか？

私はいわゆる普通の人間でした。
仕事は楽しくありませんでした。
友達も多くありませんでした。
毎日を抜け殻のように生きていました。
夢も希望もありませんでした。
未来に絶望していました。

でも今は、

動画という武器があります。
仕事をするのが楽しくて仕方ありません。
多くの友達、仲間ができました。
毎日が充実しています。
いつも「次は何しようか」と考えが膨らみます。
未来を想像するとワクワクします。

これだけ変わったからこそ、
オカモト通信を読んでくださっている
あなたも変わるんだということを伝えたい。

ネットを見ていると
動画は稼げるという人もいれば
稼げないという人もいます。

情報が錯綜しています。
間違った情報もたくさんあります。

オカモト通信を読んでいるあなたには
最短距離で結果を作れる情報をお届けしていきます。

毎回人生観が変わるような大切なことを
発信していくので、ぜひ丁寧に読み進めてください。

そして、この中から動画フリーランスをたくさん生み出して
自由な仲間たちを作っていきたいと思っています。

一緒に何か大きなプロジェクトを
動かすことができたりするのを想像すると
ワクワクしちゃいますね。

そんなみたいを一緒に作っていきましょう。

ぜひ、次からのオカモト通信を
楽しみに待っていてくださいね。

PS.

感想もお待ちしております。